



学校給食全額公費負担 令和7年度も継続します

今年度から実施されています、学校給食の全額公費負担が令和7年度も継続される予定です。1食単価は物価高騰により見直しがありますが、一人当たりおおむね63,000円程度の給食費が公費で賄われます。この事業は「どの子どもも安心して生まれ育つことができるまち」の実現に向けて郡山市が実施しているものです。保護者の皆様もこの事業の趣旨をご理解の上、子どもたちがどんな給食を食べるのが楽しみにしてください。



学校給食の衛生管理を考える

先日のテレビ番組で、学校給食での食中毒をテーマとした企画が放送されていました。鶏肉のドリップから発生したカンピロバクターが扇風機の風に乗ってポテトサラダに感染した事案でした。まさか、扇風機の風で細菌が付着するなんて、誰も思わないことです。しかし「まさか」は身近な生活の中で発生するという事例なのでしょう。本校の学校給食でも、他校と同じように温度管理、動線管理、品質管理など様々なチェックを経て子どもたちに提供しています。これからも、安全でおいしい給食を提供できるよう、栄養技師を中心に努めていきますのでご安心ください。



学生ボランティアの先生が来ました

福島大学では、教員を志望している学生のボランティアを地域の学校に派遣していて、本校にも明健小学校の卒業生の遠藤未菜さんが来ています。週2回、主に児童の学習補助、支援学級の補助、学校の事務作業を手伝ってまいります。福島県では大学3年生から教員採用試験を受けることができ、このボランティア活動を通して実際の学校現場を体験します。様々な学級で実践することとなりますが、児童と共にいい経験ができればと思います。



先生やってみませんか？

第3号でもお知らせしましたが、次年度も先生が不足しています。われらが明健小もまた不足になる可能性があります。来年も困る！郡山市内で困っている学校が他にもたくさんあります。最近では、産休育休補充の先生も配置できない学校も多くあります。

保護者の皆様で、教員を経験したことのある方、教員免許をお持ちの方で教員をやってみたい方はいませんか？学校の先生っていい仕事ですよ！もし、興味のある方、やってみたいなあとと思う方は、ぜひ校長までご連絡ください。おねがいします<m(__)m>

全校集会のお話から

全校集会の時、いつも6年生が、一番はじめに入って静かに待っています。静かに入場する雰囲気を作ってくれている。だから、他の学年の子たちも静かに入場する。6年生がいつもしていることは当たり前ではない。だから6年生はすごい。この姿を全校生で真似をしてほしい。伝統を引き継ぐということは、先輩の善い行いを真似していくことだと思います。5年生も、きっと6年生のように素晴らしい6年生になれる、そう信じています。残り一ヶ月。みんなで6年生の素晴らしい姿を真似しながら、明健小学校の伝統を引き継いでください。